

## 上田城南地域協議会会議録

日時 平成 19年 1月 15日(月) 午前 10時から 12時

場所 上田市城南公民館 2階大ホール

出席委員 石井委員、石黒委員、石坂委員、井出委員、岡部委員、掛川委員、木内委員、酒井委員、竹内順一委員、竹内秀夫委員、竹田委員、田中明委員、田中千寿子委員、中島委員、中村委員、西川朋子委員、西川善和委員、増田委員、丸山委員、宮崎委員

市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査

### 1 開会(原沢自治振興課長)

### 2 あいさつ(田中明会長)

12月 21日に市長から諮問のあった地域まちづくり方針について、答申に向けた議論を進めたい。住民の地域協議会に対する関心が高まってきている。地域住民の期待に応えられるよう進めてまいりたい。

### 3 会議事項

#### (1) 審議事項

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について(諮問)

(田中会長)

それでは会議事項に入ります。総合計画「地域まちづくり方針」の修正案について、事務局から説明をお願いします。

資料「上田城南地域 地域まちづくり方針 委員提出意見に基づく事務局案」

原沢自治振興課長から説明

〔項目〕

地域づくり活動拠点の整備

「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくりの推進

国道 143号などの整備と子どもや高齢者にやさしい安全対策の推進

地域医療体制と保健福祉施設の整備・推進

子育て支援施設の充実

自然との共生を目指す、里山の再生と農地の保全

歴史的・地域的資源の保全と活用

(田中会長)

ただいまの事務局説明の中でご質問等ありましたらお出してください。

(委員)

先日の新聞報道で、JT跡地の開発の問題について、市内9地域協議会へ諮問し、検討してもらいたいという要望書が市へ提出されたとのことであるが、その点については考慮する必要があるのかどうか伺う。

(原沢自治振興課長)

先週市へ要望書が提出されたところである。現在要望内容についてその取り扱いをどうするかについて内部で検討中のところである。現時点では、JTの関係については、地域まちづくり方針とは切り離して考えている。

(委員)

項目の歴史的・地域的資源の保全と活用については、徐々に進めていかなければならない内容であるが、十数年前に真田幸村の時にはブームに乗り遅れてしまった感があったが、今回の「風林火山」について、観光課サイドで考えていることはあるのか。

(原沢自治振興課長)

大河ドラマ「風林火山」が始まったところであるが、広域的な連携のもとに進めていくことが有効であることから、市としては長野市、小諸市等との連携のもとに観光施策を進めていく予定である。

(田中会長)

7項目(事務局案)の協議の進め方ですが、前回の協議会で分科会的に進めていったらどうかという意見があった。また、前回は各委員の意見を伺いながら進めた。その2つの方法が考えられるが、事務局の説明をお願いしたい。

(原沢自治振興課長)

前回のグループごとに検討を進めたらどうかという意見をふまえ、5人ずつ4つのグループで全項目について1時間程度議論していただきまして、その後班ごとに意見を発表していただく形で進めていったらどうかと思いますので、よろしくお願ひします。

(田中会長)

ただいまの事務局説明のとおり班ごとに進めることでよろしいでしょうか。

全委員賛成

(委員)

話し合いに入る前に、2、3の話し合いのルールを確認したうえで、話し合いに入

ったほうが良いと思う。意見に対して反論するのはいいが、発言者の人格を否定することは言わないのが基本である。一人が長く発言していたのでは、話が進まなくなってしまうので、意見は簡潔明瞭に、一回の発言につき、内容は一つとする。

責任者が7項目全てを発表するとなると相当の負担となってしまうので、5人が1項目ないし2項目を発表することにすれば、負担が軽減されると思う。

## 班別討論

(田中明会長)

それでは再開いたします。各グループの検討結果について発表をお願いします。

【1班】

(委員)

項目 について

- ・ 「環境負荷軽減を考慮した」(ハード面)の文言を入れる。
- ・ 「～住民や活動する団体による住民自治の実践の場として整備を促進します。」の「整備を促進します。」ということでは弱いので、もう少し強い言い回しができないか。
- ・ 「各世代(子どもからお年寄りまで)が利用しやすい」といった文言を入れていただきたい。

項目 について

- ・ 「また、地域の農産物のPR発信源としての地域振興や～」については、地域の持つ特性、活力は農産物だけではなく、伝統、文化等もある。農産物のPRの部分だけではなく、今後細部にわたって検討する時期が来るであろうから、その時にこういう文言が障害にならないような表現ができないか。例えば、「地域のPRと情報の受発信源」というような文言でどうか。

項目 について

- ・ 都市デザイン(都市計画)の中で総合的な計画を進めると同時に、広域の連携の中で整備を進めていく、他地区との連携を図りながら進めていくことを加える。

項目 について

- ・ こうしてもらえないか、ああしてもらえないか、こういうことを進めますと言い切ってもらえないかというのが一番強く出てしまう項目ではあるが、土地、費用の問題もある。「～現有する施設を有効に活用しながら、安心して医療が受

けられる体制づくりを目指します。」の「目指します。」については、「促進します」等の表現ができないとすれば、事務局案どおり「体制づくりを目指します。」と謳われていればいいのではないか。

項目 について

他の項目との関連性、将来にわたり上田が良くなるということから見ますと、子育て支援についてハードのことは謳われているが、ソフト面を今後上田市とすれば進めていくという部分に触れていただきたい。ハード面については、項目と関連してくる。既存の学校施設との連携を考えると、ハード面の老朽化を整備していく部分はあまり必要ないのではないか。

ソフト面の文言を強めに謳っていただきたい。

項目 及び について

地域がもつ特徴、景観、財産が今後どう環境と関わってくるのかということになってくるので、 から すべて関わってくることになる。

事務局案どおりでどうか。

## 【2班】

(委員)

項目 について

- ・ 「城南公民館の早期建設（促進）」といった文言を入れる。
- ・ 「～地域コミュニティの拠点として地域の豊かな人間関係と住民活動の良好な循環を図ります。」の部分で、「住民活動の良好な循環を図ります。」の意味がよくわからない。

項目 について

- ・ 「～にぎわいの源泉づくりを図ります。」については、「源泉づくり」の表現が適当ではないので、「創出」とする。
- ・ 特に冬場の地域防災が心配である。千曲川の水位が高い時期は困ってしまう。
- ・ ヘリポートの設置にあたっては、広い場所が必要となるが、数ヵ所あってもいいのではないか。

項目 について

「国道 143号や周辺のアクセス道路の機能強化に加え、～」の「アクセス道路」については、何を捉えているのか。143号に出入りしている道路をアクセス道路としているのかとも思う。

「機能強化」は、2車線を4車線化にするとか、歩道を整備することをさしているのか。その後に「子どもやお年寄りなどの交通弱者」とあるので、これからは歩道橋や歩道を設置強化していくのかと思うが、そういう意味でこの文言のとおりやさしいまちづくりの推進をお願いしたい。

項目 について

事務局案どおりかどうか。

項目 について

施設や広場はあってもいいが、地域全体で子どもを育てていくことを中心に考えていく。

項目 について

事務局案どおりかどうか。

項目 について

集客のための民間の協力が必要である。

〔提案〕

項目 の別所線の内容を切り離し、項目 とする。

### 【3班】

(委員)

項目 について

城南公民館の新設を最重要課題として推し進めていく。建設にあたっては、商工などの活用を含めた施設とし、商工関係予算もいただく中で活用していければと思う。太鼓や音楽関係の団体が利用する場がないので、防音設備を施した部屋の整備、子育て支援の場とするなど、地域の拠点として公民館整備を進める。また緊急時の避難場所としても整備する。

項目 について

- ・ 道と川の駅については、早期に実現したい。
- ・ 「～農村景観に配慮した周辺の里山の再生を進め、～」とあるが、項目 に里山再生について詳しく記載しているので、削除したらどうか。
- ・ 地域振興として観光面からも、風林火山、上田原合戦をPRしていく。

項目 について

- ・ 現在 143号線の拡幅工事が行われているが、用地買収等難航が予想される。そこで、平行した道路を整備するとか、東西をつなぐ道路の整備を検討していったらどうか。小牧橋の周辺道路及び歩道の整備をお願いしたい。

項目 について

- ・ 地域医療については、左岸の地域住民が特に関心を持っている部分である。左岸の地域協議会全体の意見として、方針の中に盛り込んでいく。
- ・ 医療施設を別所線沿線に建設してもらえば、利用者の面からも非常に有効活用できる。

項目 について

- ・ 地域の皆さんの協働による子育て支援ということで、遊休地活用の中で、高

齢者もマレットゴルフ、ゲートボールの設備は徐々に出来つつあるが、併せて子ども達の遊び場を整備していく。お年寄りの傍で子ども達が遊ぶことによって、安全な遊び場づくりができる。

項目 について

- ・ 小牧山、須川、半過の里山整備を進めることによって、教育をはじめいろいろな面で活用ができる。
- ・ 廃棄物処理施設を須川地区へどうか。処理施設だけでなく、温泉設備も備えたものでどうか。

項目 について

- ・ 事務局案どおりでどうか。

#### 【4班】

(委員)

項目 について

- ・ 城南公民館建設を早期に実現するとともに、建設にあたっては地域自治センターの機能を持たせてほしい。
- ・ 子育て支援、グループの活動、気軽に利用できる場所、市の分室的役割を役割をもたせてほしい。
- ・ 上田原の駅の有効利用を兼ねて、駅直結の公民館施設を建設したらどうか。

項目 について

- ・ 道と川の駅建設には、基本的に反対である。建設を前提とした場合、建物(ハード面)の建設だけでは意味がない。周辺地域にも類似施設がいくつもあり、あまり経営状態もよくないという話を聞いており、建設するとすれば特徴のあるものを検討していくべきである。例えば観光バスが常時駐車できるような施設を建設したらどうか。温泉を掘ったり、千曲公園や大日堂など地域の観光拠点があるので、点と点を結んだ環境開発が必要ではないか。そういった整備を併せて進めていくことで、観光バスがその周辺を巡って、道の駅に寄るような体制が組めるのではないか。
- ・ 周辺の自然を利用して子ども達が、のびのびと遊べるような施設ができればいい。

項目 について

- ・ 国道143号の道路拡幅、歩道整備、段差解消の整備を早急に進めてほしい。
- ・ 子ども達の遊ぶ場所も確保してほしい。
- ・ 沿線に街路樹、花壇等を作って、道を整備する。地域住民皆で管理していくしくみづくりが必要ではないか。

項目 について

- ・ 左岸地域への総合病院の誘致は是非必要である。
- ・ できるだけ既存の施設も活用する中で、お金もかけない方法もあるのではないか。
- ・ 病院については、候補地があるようだが、別所線の駅を拠点とした施設整備ができれば、別所線を利用して集まるようなコミュニティの場所もできて、有効利用にもつながる。

項目 について

- ・ 子育て支援施設の充実という点では、城南地域には子育て支援センターがないので、川辺保育園を子育て支援センターの拠点として機能をもたせてほしい。  
泉田、小泉保育園の建設が問題となっているが、地域の誰もが集える場所として役割をもたせられるものとして整備を図ってほしい。

項目 について

- ・ 産川、浦野川、千曲川といった自然に恵まれた川がいくつも流れているので、遊べる場所を整備すると共に水害対策にも配慮した整備を進めていくことかどうか。

項目 について

- ・ 風林火山が放映されているが、先程他市との連携して進めていくという説明があったが、単独でも進めていく必要がある。
- ・ 下之条に板垣信方の墓があるが、知らない人も多いし、観光では風林火山の幟旗をたててPRしているが、地元としてもPRに参画していきたいということもある。
- ・ 別所線の有効利用については、駅に駐車場がないのがネックになっており、駐車スペースがあるとより乗客も増えるのではないかと。

(田中会長)

それぞれ発表いただきました。今後の対応について事務局からお願いします。

(原沢自治振興課長)

発表の中で、項目を追加の方がいいという意見があったが、7項目以内ということで全地域協議会の調整を進めておりますので、追加するということであれば、項目数を調整する必要が出てくる。ご検討をお願いしたい。

(委員)

別所線の内容が項目に馴染まないところがあるので、項目へもっていき、国道143号の整備と併せて、交通整備として謳っていったらどうか。

(委員)

ただいま意見のとおり、別所線については項目へ含めて絡めていくことでどうか。

(委員)

項目の交通整備の中で一括して謳うことでどうか。

(委員)

事務局で、予算の面、関係法令等も検討する中でまとめていただいた方がいいと思う。

(田中会長)

交通という括りの中へ入れることで、別所線については項目へ入れる、それが行政の中で問題がなければいいが、行政の側がやりやすい方がいいだろうという意見かもしれません。その点どうか。

(原沢自治振興課長)

項目について確認させていただきますと、7つの項目でよろしいかどうか、その点を確認させていただきたい。

(田中会長)

7項目とすることでよろしいですね。

異議なし

## (2) その他

・次回の開催日程について

1月26日(金)午前10時から〔城南公民館2階大ホール〕